

(3) 注目種について

今回の調査で確認された底生動物は120種類あり、節足動物門が57種類と最も多く確認され、次いで軟体動物門が36種類、環形動物門が16種類確認された。

節足動物門は一般的になじみのあるエビ、カニ類を含む甲殻綱が大部分を占め、軟体動物門は全て貝類(腹足綱、二枚貝綱など)であり、環形動物門は大部分が多毛綱(ゴカイ類が含まれる)であった。

今回出現が確認された底生動物のうち既往資料からみた注目種について確認した。注目種の選定に当たっては以下の資料を参照した。

資料①:徳島県の絶滅のおそれのある野生動物2001－徳島県レッドデータブック(2001)

資料②:環境省レッドリスト、レッドデータブック

甲殻類等 :環境省レッドリスト(2000/04/12公表)

汽水、淡水魚類:改訂・日本の絶滅のおそれのある野生動物

－レッドデータブック－ 4 汽水・淡水魚類 (2003)

資料③:和田恵次 他(1996)WWF Japan Science Report Vol3 December1996
(特集:日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状)

注目種のうち、全ての資料に記載されているシオマネキ、ハクセンシオマネキや資料①で絶滅が危惧され、資料③で危険種とされているヘナタリ、フトヘナタリは今回広域分布で干潟上の生息が広範囲で確認されており、特にシオマネキとハクセンシオマネキは吉野川河口の干潟域における代表的な底生動物として広く知られている。

その他は、資料③で絶滅寸前種とされているヒロクチカノコが広域分布調査で、危険種とされているソトオリガイ、ハナグモリガイがコドラート調査で比較的多く確認されている。

図 1-4-19に注目種の1部について標本採取位置を示した。

また、本調査を通じて確認された出現種の一覧を表 1-4-17、調査別の出現状況と、広域分布調査時の任意サンプリングで確認された干潟別の確認種はそれぞれ表 1-4-18および表 1-4-19のとおりであった。

表 1-4-16 今年度調査における注目種

門	綱	種名 和 名	区分		
			徳島県RDB	環境省RL, RDB	WWF-Vol3
軟体動物	腹足	ヒロクチカノコ		—	絶滅寸前種
		カワグチツボ		—	危険種
		ワカウラツボ		—	絶滅寸前種
		マルウズラタマキビガイ		—	危険種
		ヘナタリガイ	絶滅危惧Ⅱ類	—	危険種
		フトヘナタリガイ	準絶滅危惧	—	危険種
		エドガワミズゴマツボ		—	希少種
		クリイロコミミガイ	絶滅危惧Ⅱ類	—	危険種
	二枚貝	ハナグモリガイ		—	危険種
		オチバガイ		—	危険種
		ウネナシトマヤガイ		—	危険種
		ハマグリ		—	危険種
		クシケマスオガイ		—	危険種
		ソトオリガイ		—	危険種
節足動物	甲殻	ヨコヤアナジャコ	準絶滅危惧		
		アカテガニ	準絶滅危惧		
		ウモレベンケイガニ			希少種
		オオユビアカベンケイガニ			希少種
		フタバカクガニ	絶滅危惧Ⅱ類		
		トリウミアカイソモドキ			危険種
		ハマガニ	絶滅危惧Ⅱ類		
		モクズガニ	絶滅危惧Ⅱ類		
		ヒメアシハラガニ	絶滅危惧Ⅱ類		
		ケフサイソガニ	絶滅危惧Ⅱ類		
		マメコブシガニ	絶滅危惧Ⅰ類		
		ムツハアリアケガニ			絶滅寸前種
		アリアケモドキ			希少種
		シオマネキ	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧 (NT)	危険種
		ハクセンシオマネキ	準絶滅危惧	準絶滅危惧 (NT)	危険種
		フタバピンノ			絶滅寸前種
脊椎動物	硬骨魚	エドハゼ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧IB類 (EN)	
		チクゼンハゼ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧IB類 (EN)	
		ヒモハゼ	準絶滅危惧		
		トビハゼ	絶滅危惧Ⅱ類		
		種類数	17	4	22

徳島県RDB：徳島県の絶滅のおそれのある野生動物2001

徳島県版レッドデータブック（2001）

環境省RL：①甲殻类等 環境省レッドリスト（2000/04/12公表）

②汽水・淡水魚類 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生動物
—レッドデータブック— 4 汽水・淡水魚類（2003）

※：汽水域の貝類はレッドリストなし。

WWF-V3：WWF Japan Science Report Vol.3

特集：日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状（1996）

①徳島県版レッドデータブック

絶滅危惧Ⅰ類＝徳島県において、絶滅の危機に瀕している種。

絶滅危惧Ⅱ類＝徳島県において、絶滅の危機が増大している種。

準絶滅危惧＝徳島県において、現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

②環境省レッドリスト

絶滅危惧IB類(EN)＝絶滅の危機に瀕している種(絶滅危惧Ⅰ類)のうち、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

準絶滅危惧(NT)＝現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

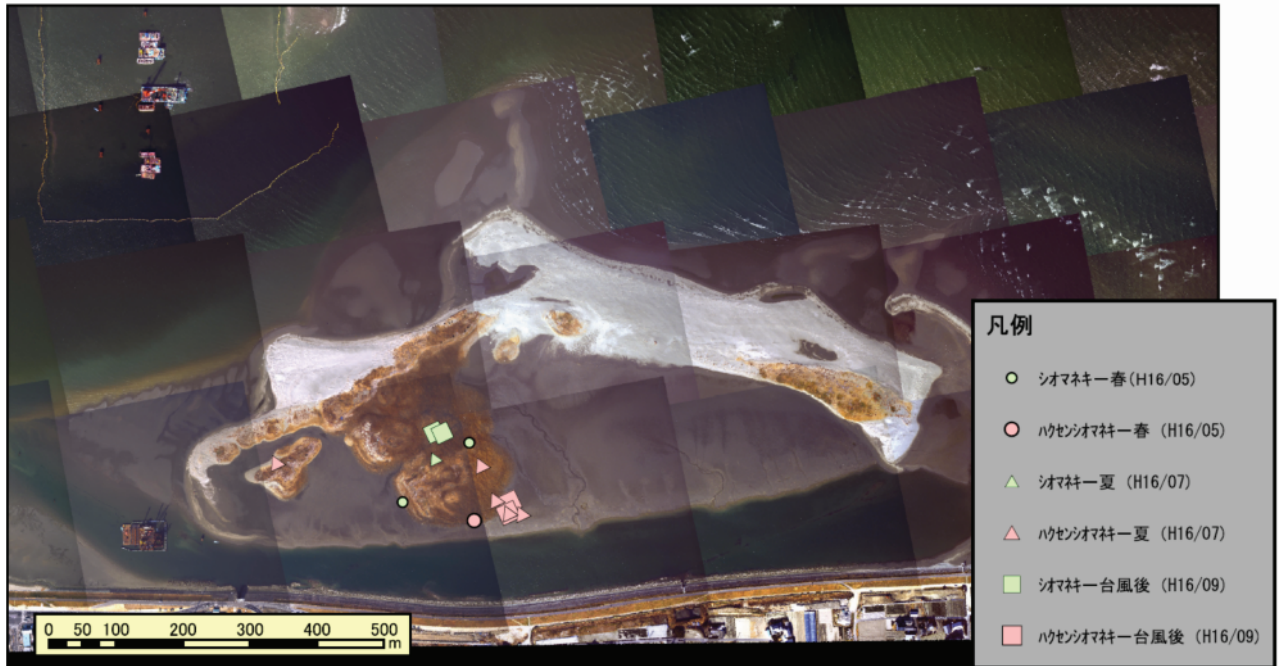
③WWF 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状

絶滅寸前種＝人為の影響の如何に関わらず、個体数が異常に減少し、放置すればやがて絶滅すると推定される種。

危険種＝絶滅に向けて進行しているとみなされる種、今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少種＝特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

<基図（レーザ-測量によるオルソフォト）撮影日：平成16年3月10日>



<基図（レーザ-測量によるオルソフォト）撮影日：平成16年3月10日>



注1:コドラート調査、広域分布調査などで試料を採取した地点をプロットした。

注2:作図した2種は広域分布調査時に分布範囲の確認を実施した種である。

図 1-4-19 注目種の試料採取位置(シオマネキ類)

表 1-4-17(1) 確認種一覧(その1)

調査時期 : 平成16年 5、7、8、9月

観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

番号	門	綱	目	科	種 名	和 名
1	刺胞動物	花虫	イソギンチャク		Actiniaria	イソギンチャク目
2	扁形動物	渦虫	多岐腸		Polycladida	多岐腸目
3	紐形動物				NEMERTINEA	紐形動物門
4	環形動物	多毛	遊在	チロリ	<i>Glycera</i> sp.	
5				ニカイチロリ	<i>Glycinde</i> sp.	
6					<i>Goniada</i> sp.	
7				ギボシイソメ	<i>Lumbrineris</i> sp.	
8				シロガネゴカイ	<i>Nephtys</i> sp.	
9				ゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	コケゴカイ
10					<i>Hediste diadora</i>	ヤマトカワゴカイ
11					<i>Nectoneanthes latipoda</i>	オウギゴカイ
12				サシバゴカイ	<i>Eteone</i> sp.	
13			定在	イトゴカイ	<i>Heteromastus</i> sp.	
14				ケヤリ	Sabellidae	ケヤリ科
15				スピオ	<i>Aonides</i> sp.	
16					<i>Prionospio japonicus</i>	ヤマトスピオ
17					<i>Pseudopolydora</i> sp.	
18					Spionidae	スピオ科
19		貧毛	後生殖門	フトミミズ	<i>Pontodrilus</i> sp.	
20	触手動物	簪虫	簪虫	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.	
21	軟体動物	腹足	原始腹足	アマオブネガイ	<i>Meritina cornucopia</i>	ヒロクチカノコ
22				リュウテンサザエ	<i>Homalopoma</i> sp.	サンショウガイ属
23			中腹足	カワザンショウガイ	Assimineidae	カワザンショウガイ科
24				ワカウラツボ	<i>Iravadia elegantula</i>	カワグチツボ
25					<i>Iravadia sakaguchii</i>	ワカウラツボ
26				タマキビガイ	<i>Littoraria articulata</i>	マルウズラタマキビガイ
27					<i>Littoraria brevicula</i>	タマキビガイ
28				ウミニナ	<i>Batillaria cumingi</i>	ホソウミニナ
29					<i>Cerithidea cingulata</i>	ヘナタリガイ
30					<i>Cerithidea rhizophorarum</i>	フトヘナタリガイ
31				ミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawaensis</i>	エドガワミズゴマツボ
32			新腹足	オリイレヨフバイ	<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロガイ
33					Nassariidae	オリイレヨフバイ科
34			頭楯	ヘコミツラガイ	Retusidae	ヘコミツラガイ科
35			基眼	オカミミガイ	<i>Laemodonta siamensis</i>	クリイロコミミガイ
36		二枚貝	翼形	イガイ	<i>Musculista senhousia</i>	ホトトギスガイ
37					<i>Xenostrobus securis</i>	コウロエンカワヒバリガイ
38				イタボガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ
39			異歯	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジミ
40				フジノハナガイ	<i>Chion semigranosa</i>	フジノハナガイ
41				ハナグモリガイ	<i>Glaucanome chinensis</i>	ハナグモリガイ
42				バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>	バカガイ
43				シオサザナミガイ	<i>Nuttallia japonica</i>	イソシジミ
44					<i>Psammotaea virescens</i>	オチバガイ
45				アサジガイ	<i>Theora fragilis</i>	シズクガイ
46				マテガイ	<i>Solen strictus</i>	マテガイ
47				ニッコウガイ	<i>Macoma</i> sp.	シラトリガイ属
48				フナガタガイ	<i>Trapezium liratum</i>	ウネナシトマヤガイ
49				マルスダレガイ	<i>Cyclina sinensis</i>	オキシジミガイ
50					<i>Phacosoma japonicum</i>	カガミガイ
51					<i>Meretrix lusoria</i>	ハマグリ
52					<i>Gomphina melanaegis</i>	コタマガイ
53					<i>Gomphina</i> sp.	
54					<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ
55		無面		エゾオオノガイ	<i>Venatoma truncata</i>	クシケマスオガイ
56		異靱帯		ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	ソトオリガイ

表 1-4-17(2) 確認種一覧(その2)

調査時期 : 平成16年 5、7、8、9月

観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

番号	門	綱	目	科	種 名	和 名
57	節足動物	甲殻	完胸	フジツボ	<i>Balanus amphitrite</i>	タテジマフジツボ
58			アミ	アミ	<i>Archaeomysis japonica</i>	ナミフクロアミ
59			クマ	ディアスティリス	<i>Dimorphostylis</i> sp.	サザナミクーマ属
60			等脚	スナウミナナフシ	<i>Cyathura</i> sp.	スナウミナナフシ属
61				スナホリムシ	<i>Eurydice</i> sp.	ナギサスナホリムシ属
62					<i>Excirolana chiltoni</i>	ヒメスナホリムシ
63			端脚	ドロクダムシ	<i>Corophium</i> sp.	ドロクダムシ属
64					<i>Grandidierella japonica</i>	ニホンドロソコエビ
65				ツノヒゲソコエビ	<i>Urothoe</i> sp.	
66				クチバシソコエビ	<i>Synchelidium</i> sp.	サンパクソコエビ属
67				ハマトビムシ	<i>Platorchestia platensis</i>	ヒメハマトビムシ
68					Talitridae sp.	ハマトビムシ科
69			十脚	クルマエビ	<i>Metapenaeus joyneri</i>	シバエビ
70					Penaeidae sp.	クルマエビ科
71				テッポウエビ	<i>Alpheus euprosyne richardsoni</i>	マングローブテッポウエビ
72					<i>Alpheus</i> sp.	テッポウエビ属
73					<i>Athanas</i> sp.	ムラサキエビ属
74				エビジャコ	<i>Crangon affinis</i>	エビジャコ
75					<i>Crangon</i> sp.	エビジャコ属
76				テナガエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>	シラタエビ
77				アナエビ	Axiidae sp.	アナエビ科
78				スナモグリ	<i>Callinassa</i> sp.	スナモグリ属
79				ハサミシャコエビ	<i>Laomedea astacina</i>	ハサミシャコエビ
80				ホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>	ユビナガホンヤドカリ
81				アナジャコ	<i>Upogebia major</i>	アナジャコ
82					<i>Upogebia yokoyai</i>	ヨコヤアナジャコ
83					<i>Upogebia</i> sp.	アナジャコ属
84				ベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>	クロベンケイガニ
85					<i>Chiromantes haematocheir</i>	アカテガニ
86					<i>Clistocoeloma sinense</i>	ウモレベンケイガニ
87					<i>Parasesarma acis</i>	ユビアカベンケイガニ
88					<i>Parasesarma pictum</i>	カクベンケイガニ
89					<i>Parasesarma plicatum</i>	オオユビアカベンケイガニ
90					<i>Perisesarma bidens</i>	フタバカクガニ
91				モクズガニ	<i>Acmaeopleura toriumii</i>	トリウミアカイソモドキ
92					<i>Chasmagnathus convexus</i>	ハマガニ
93					<i>Eriocheir japonicus</i>	モクズガニ
94					<i>Helice japonica</i>	ヒメアシハラガニ
95					<i>Helice tridens tridens</i>	アシハラガニ
96					<i>Helice</i> sp.	アシハラガニ属
97					<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	ケフサイソガニ
98				コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ
99				ムツハアリアケガニ	<i>Camptandrium sexdentatum</i>	ムツハアリアケガニ
100					<i>Deiratonotus cristatus</i>	アリアケモドキ
101				オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>	オサガニ
102					<i>Macrophthalmus japonicus</i>	ヤマトオサガニ
103				スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i>	スナガニ
104					<i>Uca arcuata</i>	シオマネキ
105					<i>Uca lactea</i>	ハクセンシオマネキ
106				コメツキガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	チゴガニ
107					<i>Scopimera globosa</i>	コメツキガニ
108				カクレガニ	<i>Pinnotheres bidentatus</i>	フタバピンノ
109				ワタリガニ	<i>Charybdis bimaculata</i>	フタホシイシガニ
110					<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ
111					Megalopa of Brachyura	短尾下目 メガロバ幼生
112		唇脚	ジムカデ		Geophilomorpha	ジムカデ目
113		昆虫	双翅	アシナガバエ	Dilichopodidae sp.	アシナガバエ科

表 1-4-17(3) 確認種一覧(その3)

調査時期 : 平成16年 5、7、8、9月

観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

番号	門	綱	目	科	種 名	和 名
114	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Acentrogobius pflaumi</i>	スジハゼ
115					<i>Chaenogobius macrognahtus</i>	エドハゼ
116					<i>Chaenogobius uchidai</i>	チクゼンハゼ
117					<i>Eutaeniichthys gilli</i>	ヒモハゼ
118					<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ
119					<i>Periophthalmus cantonensis</i>	トビハゼ
120					Gobiidae sp.	ハゼ科

備考1 : 分類および種名は主に次の文献によった

- ① 岡田 要他 (1965) 「新日本動物図鑑, 上・中・下」北隆館
- ② 今島 実 (1996) 環形動物 多毛類, 生物研究社
- ③ 今島 実 (2001) 環形動物 多毛類Ⅱ, 生物研究社, 542pp.
- ④ 奥谷喬司編著 (2000) 「日本近海産貝類図鑑」東海大学出版会
- ⑤ 西村三郎編著 (1992) 「原色検索日本海岸動物図鑑 [Ⅰ]」保育社
- ⑥ 西村三郎編著 (1995) 「原色検索日本海岸動物図鑑 [Ⅱ]」保育社
- ⑦ 三宅貞祥 (1982) 「原色日本産大型甲殻類図鑑 (Ⅰ)」保育社
- ⑧ 酒井 恒 (1976) 「日本産蟹類」講談社
- ⑨ 川合禎次編 (1985) 「日本産水生昆虫検索図説」東海大学出版会
- ⑩ 益田 一他 (1984) 「日本産魚類大図鑑」東海大学出版会
- ⑪ 千原光雄・村野正昭編著 (1997) 「日本産海洋プランクトン検索図説」東海大学出版会
- ⑫ Komai, T. and S. Mishima (2003) A Redescription of *Pagurus minutus* Hess, 1865, a Senior Synonym of *Pagurus dubius* (Ortmann, 1892) (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae). Benthos Research, 58, 15-30.
- ⑬ Sato, M. and A. Nakashima (2003) A review of Asian *Hediste* species complex (Nereidae, Polychaeta) with descriptions of two new species and a redescription of *Hediste japonica* (Izuka, 1908). Zool. Journ. Linne. Soc., 137, 403-445.
- ⑭ Kitaura, J., Wada, K. and Nishida, M. (2002) Molecular phylogeny of grapsoid and ocyrodoid crabs with special reference to the genera *Metaplex* and *Macrophthalmus*. Journal of Crustacean Biology, 22(3): 682-693.
- ⑮ Hsueh, P-W. And Huang, J-F. (1996) A new record of *Clistocoeloma sinense* Shen, 1933, from Taiwan (Decapoda, Brachyura, Grapsidae, Sesarminae), with notes on its distribution and ecology. Crustaceana, 69(1): 63-70.

備考2 : 種の査定に際して、主に以下の理由に該当するものは表記を属、科、目レベルまで留める事とした。

- ① 多毛綱や十脚目 (エビ目) 以外の小型甲殻類について、分類に関する知見が不足しているもの
- ② 試料が幼弱または小型個体である場合
- ③ 試料が破損しており、分類の基準となる形質が確認できない場合

表 1-4-18(1) 調査別出現状況(その1)

調査時期 : 平成16年 5、7、8、9月

観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

種 名	春季広域	夏季広域	台風後広域	夏季定量	台風後定量	夏季密度	台風後密度	夏季ヨシ原	定量採泥
1 イソギンチャク目				○					
2 多岐腸目				○					
3 紐形動物門				○					◎
4 <i>Glvcera</i> sp.				○					○
5 <i>Glvcinde</i> sp.									○
6 <i>Goniada</i> sp.				○					○
7 <i>Lumbrineris</i> sp.				○					◎
8 <i>Nephtys</i> sp.									○
9 コケゴカイ				○	○				○
10 ヤマトカワゴカイ				○	○				
11 オウギゴカイ									○
12 <i>Eteone</i> sp.				○					
13 <i>Heteromastus</i> sp.				◎	○				○
14 ケヤリ科				○	○				
15 <i>Aonides</i> sp.									○
16 ヤマトスピオ				○					
17 <i>Pseudopolydora</i> sp.				○					○
18 スピオ科				○					
19 <i>Pontodrilus</i> sp.				○	○				
20 <i>Phoronis</i> sp.									○
21 ヒロクチカノコ	□	□	□		○		○	◎	
22 サンショウガイ属				○					
23 カワザンショウガイ科	□	□	□	○	○	○		●	
24 カワグチツボ				○					
25 ワカウラツボ					○				
26 マルウスラタマキビガイ	□	□	□					○	
27 タマキビガイ			□						
28 ホソウミニナ	□	□	□						
29 ヘナタリガイ	□	□	□		○	○	○		
30 フトヘナタリガイ	□	□	□	○	○	○	○	◎	
31 エドガワミズゴマツボ				◎					○
32 アラムシロガイ				○					○
33 オリイレヨフバイ科		□							
34 ヘコミツラガイ科									○
35 クリイロコミミガイ				○					
36 ホトトギスガイ				○					●
37 コウロエンカワヒバリガイ	□		□						
38 マガキ			□						
39 ヤマトシジミ			□	○	○				
40 フジノハナガイ	□			○					
41 ハナグモリガイ	□		□	○	○				
42 バカガイ	□								
43 イソシジミ				○	○				
44 オチバガイ				○					○
45 シズクガイ									○
46 マテガイ				○					◎
47 シラトリガイ属			□						
48 ウネナシトマヤガイ			□						
49 オキシジミガイ	□	□	□	○				○	
50 カガミガイ				○					○
51 ハماغリ	□	□	□		○		○		○
52 コタマガイ	□								
53 <i>Gomphina</i> sp.				○					
54 アサリ				○					◎
55 クシケマスオガイ				○					○
56 ソトオリガイ			□	○	○				
57 タテジマフジツボ								○	
58 ナミフクロアミ					○				
59 サザナミクーマ属				○					○
60 スナウミナナフシ属	□			◎	●				
61 ナギサスナホリムシ属				○	○				
62 ヒメスナホリムシ				○					
63 ドロクダムシ属				●					○
64 ニホンドロソコエビ				○	○				○
65 <i>Urothoe</i> sp.				◎	◎				
66 サンバクソコエビ属				○					○
67 ヒメハマトビムシ				○	○				
68 ハマトビムシ科				○	○				
69 シバエビ			□						

表 1-4-18(2) 調査別出現状況(その2)

調査時期 : 平成16年 5、7、8、9月
 観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

種 名	春季広域	夏季広域	台風後広域	夏季定量	台風後定量	夏季密度	台風後密度	夏季ヨシ原	定量採泥
70 クルマエビ科				○					
71 マングローブテッポウエビ			□	○	○			○	
72 テッポウエビ属	□						○		
73 ムラサキエビ属				○	○				
74 エビジャコ	□								
75 エビジャコ属				○	○				○
76 シラタエビ	□			○	○				
77 アナエビ科				○	○				
78 スナモグリ属	□	□	□	○	○		○		○
79 ハサミシヤコエビ			□						
80 ユビナガホンヤドカリ	□	□	□		○			○	
81 アナジャコ			□						
82 ヨコヤアナジャコ	□	□	□	○	○				
83 アナジャコ属				○	○				
84 クロベンケイガニ		□							
85 アカテガニ			□						
86 ウモレベンケイガニ			□						
87 ユビアカベンケイガニ		□	□			○			
88 カクベンケイガニ		□							
89 オオユビアカベンケイガニ	□	□	□				○	◎	
90 フタバカクガニ	□	□	□						
91 トリウミアカイソモドキ	□		□	○	○				
92 ハマガニ	□	□	□						
93 モクズガニ	□								
94 ヒメアシハラガニ	□	□	□					○	
95 アシハラガニ	□	□	□	○				◎	
96 アシハラガニ属	□※	□※	□※			◎※	○※		
97 ケフサイソガニ	□	□	□	○	○		○	○	
98 マメコブシガニ	□	□							
99 ムツハリアケガニ			□	○					
100 アリアケモドキ				○				○	
101 オサガニ		□	□			○			
102 ヤマトオサガニ	□	□	□	○	◎	●	◎		
103 スナガニ	□	□	□				○		
104 シオマネキ	□	□	□	○	○	○	○	○	
105 ハクセンシオマネキ	□	□	□	○	○	◎	◎	○	
106 チゴガニ	□	□	□	○	◎	◎	◎	○	
107 コメツキガニ	□	□	□	○	◎	◎	●	○	
108 フタバピンノ	□								
109 フタホシイシガニ									○
110 イシガニ	□								
111 短尾下目 メガロパ幼生				○					
112 ジムカデ目				○					
113 アシナガバエ科				○	○				
114 スジハゼ			□						
115 エドハゼ					○				
116 チクゼンハゼ	□			○					
117 ヒモハゼ				○	○				
118 アベハゼ		□	□		○				
119 トビハゼ	□	□	□		○	○	◎		
120 ハゼ科				○	○		○		
種類数	40	32	45	70	44	12	17	17	30

- 注1. 各調査時に出現した種類について表中で記号(○、●、◎、□)で表示した。
 なお、個体数を計測した調査では、●=調査別合計個体数の第1位、◎=第2～5位、○=その他の出現種として表示した。
- 注2. 広域=広域分布調査(5月、7月、9月に実施)、定量=定量調査(7月、9月に実施)、
 密度=密度調査(7月、9月に実施)、ヨシ原=ヨシ原定量調査(8月に実施)、
 定量採泥=定量採泥調査(7月に実施)
- 注3. 定量調査、密度調査、ヨシ原定量調査、定量採泥調査では個体数の計数を行った。
- 注4. 密度調査は現地での目視により種の分類を行い、他の調査は試料を持ち帰り種を同定した。
 また、広域分布調査は主要種の分布は目視で確認したが、その他は持ち帰り同定した。
- 注5. ※のアシハラガニ属は、現地観察の為、アシハラガニとヒメアシハラガニが混在している可能性がある。

表 1-4-19 広域分布調査・任意サンプリング確認種一覧

調査時期 : 平成16年 5、7、9月

観察、同定 : 三洋テクノマリン㈱

調査時期：平成25年7月10日～11日			河口干潟			住吉干潟		
観察、同定：三洋テクノマリン株式会社			春季	夏季	台風後	春季	夏季	台風後
門	綱	種名						
軟体動物	腹足	ヒロクチカノコ	●	●	●	●	●	●
		カワザンショウガイ科	●	●	●	●	●	●
		マルウズラタマキビガイ	●		●	●	●	●
		タマキビガイ						●
		ホソウミミナ	●	●	●			
		ヘナタリガイ※	●	●	●		●	●
		フトヘナタリガイ※	●	●	●	●	●	●
		オリイレヨフバイ科					●	
	二枚貝	コウロエンカワヒバリガイ	●					●
		マガキ						●
		ヤマトシジミ			●			
		フジノハナガイ	●					
		ハナグモリガイ	●		●	●		●
		バカガイ	●					
		シラトリガイ属			●			
		ウネナシトマヤガイ						●
		オキシジミガイ	●	●	●			
		ハマグリ	●		●		●	
		コタマガイ	●					
		ソトオリガイ			●			●
節足動物	甲殻	スナウミナナフシ属	●					
		シバエビ						●
		マングローブテッポウエビ						●
		テッポウエビ属				●		
		エビジャコ	●			●		
		シラタエビ	●					
		スナモグリ属	●		●		●	●
		ハサミシャコエビ						●
		ユビナガホシヤドカリ	●	●	●			
		アナジャコ						●
		ヨコヤアナジャコ	●		●	●	●	●
		クロベンケイガニ					●	
		アカテガニ			●			●
		ウモレベンケイガニ			●			●
		ユビアカベンケイガニ			●		●	●
		カクベンケイガニ					●	
		オオユビアカベンケイガニ	●	●	●	●	●	●
		フタバカクガニ			●	●	●	●
		トリウミアカイソモドキ	●		●			
		ハマガニ	●				●	●
		モクズガニ	●					
		ヒメアシハラガニ※	●			●	●	●
		アシハラガニ※	●	●	●	●	●	●
		アシハラガニ属※		●			●	
		ケフサイソガニ	●		●	●	●	●
		マメコブシガニ	●				●	
		ムツハアリアケガニ						●
		オサガニ					●	●
		ヤマトオサガニ※			●	●	●	●
		スナガニ※	●	●			●	●
		シオマネキ※	●	●	●	●	●	●
		ハクセンシオマネキ※	●	●	●	●	●	●
		チゴガニ※	●	●	●	●	●	●
		コメツキガニ※	●	●	●	●	●	●
		フタバピンノ	●					
		イシガニ	●					
脊椎動物	硬骨魚	スジハゼ						●
		チクゼンハゼ	●			●		
		アベハゼ					●	●
		トビハゼ		●	●	●	●	●
種類数			45			46		

注: ※は広域分布調査結果で分布範囲として確認された種を示す。